



### 概要紹介

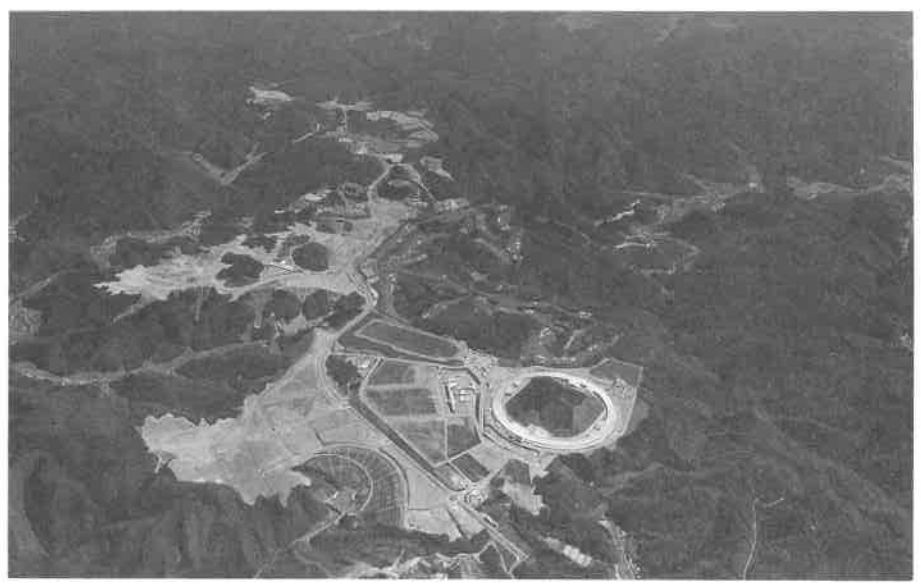
# 未来都市の胎動が聞こえ始める

## 今秋、大型放射光施設「SPRING-8」が本格稼働

播磨科学公園都市は、昭和61年から第一工区の建設にとりかかり本年度で11年目を迎えます。西播磨テクノポリスの拠点都市として、豊かな自然に恵まれた丘陵地に国際的な科学都市の建設が着々と進められてきました。造成や道路、上・下水道などの基盤整備もほぼ完成。教育、研究、住宅などの各施設が次々と建設され、都市景観も整いつつあります。

そして、その中の中心施設ともいべき世界最大級の大型放射光施設「SPRING-8」が、いよいよ今秋、本格的に稼働します。

また、新設中学校が4月に開校。がん治療に役立つ粒子線治療センターも建設が予定されるなど、夢と希望が広がる「播磨科学公園都市」。ここでは、これまでに完成した施設や今後、建設が予定されている施設の概要を紹介します。



### 播磨科学公園都市

西播磨テクノポリス計画の基幹プロジェクトとして、新宮町、上郡町、三日月町にまたがる丘陵地に建設されている新都市です。優れた先端産業、学術研究機能、快適な居住環境、余暇、文化などの機能が一体的に整備された国際的な科学公園都市の形をめざしています。

全体の都市面積は、二〇一〇ヘクタール（菅屋市とほぼ同じ）で、全体を三工区に分け、現在、約半分を占める第一工区の造成も完了し、一部の都市活動が始まっています。

今秋に大型放射光施設「SPRING-8」が、本格稼働されるのを契機に、同都市をメイン会場として、八月から十月にかけて「まちびらきフェスティバル」が開催されます。

### 県立姫路工業大学理学部

平成2年度に設置された県立姫路工業大学理学部の2年次以降の学生が学ぶ播磨科学公園都市内のキャンパスです。

従来の理学部のような学科編成の境界を取り払い、新しい構想による物質科学科と生命科学科（1学年定員175名）の2学科編成を行い、大型放射光施設SPRING-8の利用をはじめとした学術的研究を担う理学部をめざしています。




**県立粒子線治療センター（仮称）**

放射線治療法の一つである粒子線治療は、がん病巣だけにダメージを与えることができ、治療効果が高いうえ、副作用も小さいため、社会復帰が容易になるなど生活の質の面からも優れています。県では「ひょうご対がん戦略」の一環として、平成12年度末の完成をめざしています。



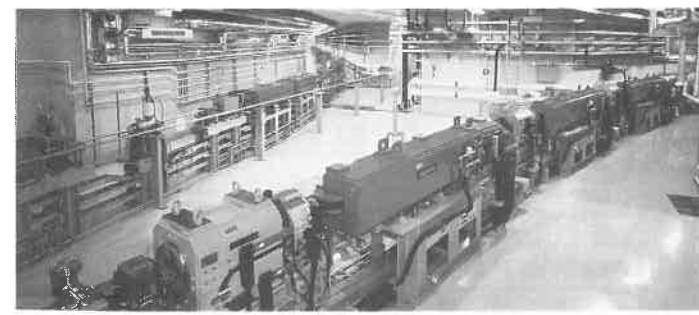
**赤穂市消防署新都市分署**

平成8年9月末に完成。同10月28日に竣工式典を行いました。バスターミナルとゴルフ場入口の間に建設。白い壁に青い線の入った外観が目をひきます。四輪駆動仕様の水槽付消防ポンプ自動車、救急車、指揮車が各1台ずつ配備され、職員16名が勤務。本年度には、はしご車も配備されます。

### 大型放射光施設SPRING-8

国内外から熱い注目を集めている大型放射光施設SPRING-8は、既存の放射光施設と比べると桁違いの高輝度の明るさをえられる世界最高性能の施設です。

全長1,400mの円周リングの中で、電子を超高速回転させることにより取り出される「放射光」は“夢の光”とも呼ばれ、バイオテクノロジーや金属、化学、繊維などの分野で新素材開発に役立つほか、半導体の微細加工やがん治療などの医学研究、医療診断でも威力を発揮するなど、多くの分野での新発見が期待されています。



シンクロトロン出射部



**地区センター**

中央交差点からひときわ目をひく高層住宅の隣に、平成8年9月から地区センターの建設が始まりました。ショッピングセンターや飲食店などの商業施設や金融機関、医療施設、行政サービスセンターなどが集約的に整備され、今年の夏ごろの完成をめざしています。



**県立先端科学技術支援センター（第二期施設）**

同都市内で展開される研究・開発などを支援するため、交流・宿泊・情報機能などをもつ既存施設に併設し、引き続き第2期整備を行います。研究活動や研究開発の場の提供と効果的な学術研究の支援を目的に、平成10年の完成をめざしています。

